

上田かつよしを育てる会だより

17.6 議会質問

1. 協働のまちづくりの推進について

「協働のまちづくり」をすすめていくには、市民協働によるまちづくりのルールである自治基本条例の制定は欠かせないと思われます。その為にはまず市民と行政の共通のガイドラインとして、また今後の具体的な行動に向けてのスタートラインとして協働のまちづくり指針の策定、まちづくり市民会議の設置というようなことが考えられるが、市民を主役にしたまちづくりに向けどのような展望をもたれていますか。

2. 環境月間における取り組みについて

- ①夏の軽装化（クールビズ）の評価と今後について
- ②「もったいない」が環境問題のキーワードになりそうですが、本市としてはどう捉えていますか。
- ③新庁舎として平成16年度が1年間終了しましたが、水道光熱費は当初予測と比較してどういう状況でしょうか。また屋上の太陽光発電による発電実績についてもどういう状況でしょうか。
- ④環境省によるチームマイナス6%運動について本市ではどうか。
- ⑤市民団体が主体で「100万人のキャンドルナイト」というイベントが実施されています。6月18日の夏至の日に電気を消してスローな夜を体験し、環境について考えようということですが、今年で3年目ですが、本市には全国的にも有名な光害防止条例の星の美しい美星町もあります。是非イベントに賛同してはどうでしょうか。

17.9 議会質問

1. 市有施設、公民館等へのAED(自動体外式除細動器) の設置、及び施設のバリアフリー化について

心疾患による年間死亡者数は年々増加傾向にあるなか、昨年7月から突然の心停止に有効なAED(自動体外式除細動器)の一般市民の使用が認められております。市民への広報、市民を対象とした講習会の開催を積極的にするとともに、市有施設、公民館等多くの市民が集う施設への設置を早急にすべきではないでしょうか。また避難場所、各種集会の行なわれる市有施設、公民館等のバリアフリー化(トイレ、出入り口の段差解消)について、積極的な展開がはかられているわけですが、現状はどうですか、また今後のバリアフリー化についての考え方を聞く。

2. 地球温暖化防止について

地球温暖化防止へむけて全市民こぞって取り組みをしているわけですが、今夏のクールビズの成果の検証を聞く。また今秋冬のウォームビズに対してどういう考え方でやっていこうとしているのか聞く。また50/50プロジェクト(省エネの成果を半々で分け合う)という考え方を学校や市有施設に取り入れて、児童生徒の環境学習、職員の世界意識の高揚に努めたらどうか。原油高騰も受け近隣は出来るだけ自動車の利用を避け、自転車での移動を心がけるように市民、職員一丸となる取り組みを展開してはどうか。

3. 食育について

近年、子どもから老人まで幅広い世代で、生活習慣病による各種の疾病が散見される。個人のわがままな生活習慣で病気になり高額の治療費を費やすという悪循環は、個人もつらいし、健康保険財政の圧迫要因ともなり、次代の少子社会にも悪影響となる。今後は予防という観点が重視される。そこで栄養士を的確に配置し、栄養士による生活習慣病予防の強化を図るべきではなからうか。また学校給食についても今一度考察する必要があるのではないだろうか。多くの食べ残しは「もったいない」。食べ残しが出ないよう検討すべきではないか。食材を作る人、調理する人、運搬する人それぞれに感謝しながらいただくべき観点から、1ヶ月に1回程度「弁当の日」を設け、親子で弁当作りをしてはどうか。

4. 住宅の耐震補強、火災報知機設置について

防災ということを考えるとき、まずわが家の安全を考えるとされる。各種の地震の度に建築基準法が改正され耐震基準が強化されてきたという経緯がある。いつどこでどんな大きさの地震があるかわからない時代です。高齢者世帯が多い、今後も増えると思われる。住宅の耐震診断について行政が手助けをする制度がありますが、一歩進んで耐震補強にも手助けをしてはどうか。また平成18年6月1日から火災報知機の設置が住宅に義務化されることにともない、詳細については条例を制定する必要があるようですが、広報並びに設置に対する考え方を聞く。

5. 各種データによる都市ランキングの考察と今後のまちづくりへの取り組みについて

いろんな調査により、各種のデータで全国の都市をランキングし、公表しているがそのランキングをどう思われていますか。住民の満足度を高めたり、他都市にない魅力度をアップしたりすることや、アイデンティティを確立すること、今後の地域間競争に打ち勝つための特色作りは容易ではないと思われる。しかし、埋もれた魅力、磨けば光る素材、今あるものでも十分特色あるまちづくりが出来るとおもわれるがどうでしょうか。



四季が丘の道路にて
国体ボランティア

◆児童生徒数◆

平成17年5月1日現在

	小 学 校																中 学 校					市立高等学校				
	高屋	大江	稲倉	県主	木之子	荏原	西江原	野上	青野	井原	出部	芳井	川相	明治	共和	美星	計	高屋	木之子	井原	芳井	美星	計	昼間	夜間	計
男	109	64	92	47	88	104	129	12	26	133	184	99	7	13	7	121	1235	100	142	279	102	74	697	63	10	73
女	86	61	85	67	92	93	124	13	25	157	185	101	8	19	12	136	1264	102	127	251	88	68	636	53	8	61
計	195	125	177	114	180	197	253	25	51	290	369	200	15	32	19	257	2499	202	269	530	190	142	1333	116	18	134

今年のインターハイで地元精研高校新体操部が団体で優勝という快挙を成し遂げた。そして、晴れの国おかやま国体でも堂々の初優勝を飾った。平成11年度に創部され、まさに「百試千改」で血のにじむような努力をされ、今の栄冠を勝ち取られた、まさに頭が下がります。歴代のOB、教職員、保護者の皆さんは、何にもない状態からのスタートで、金銭的にも大変だっただろうと思います。子どもの可能性に力ける。スポーツや文化、あらゆる方面に可能性を秘めた子どもに物心ともに協力をすること、言葉の上では簡単なことだが、実行するとなると大変だ。メジャーなものとマイナーなものでは世間の取り上げ方が大きく違うのが現実です。こここの部分でも市場原理でもあるまいが、そうかもしれない、と思う。しかし「新体操のまち井原」を定着させたいものです。われわれ大人は「子ども」に対してはいろんなしがらみを排除し、最大限の支援をしなければならない。「夢」「可能性」にかけることが大切だと思う。

来春から新井原高校が井原市内唯一の県立高校として船出をする。あくまで主役は生徒たち。大きく羽ばたいてほしい。

◆井原市基礎データ◆



井原青年会議所6月度例会で「地域通貨」をテーマで講演を致しました。

近況報告

- ・5月から 前岡山大学副学長 松畑^{きいち}一氏の連塾で学んでおります。(月1回)
- ・7/30.31の岡山大学環境理工学部公開講座 - 都市基盤と環境について考える - を受講。
- ・9月から岡山市奉還町商店街の再生プランづくりへ参加しています。
- ・9月.10月に福山平成大学の小谷教授のもとで「川に学ぶ体験活動協議会」の「川の初級指導者」養成講習会に参加しました。